

わけもん きぼっちょっど

未来に届け 第12回

問 今回はよね、高鍋リトルシニアちゅう野球のクラブを紹介するっचारろ…何がスゲーと〜?

答 何がスゲーかと言うと今年はコロナ禍の中、練習もままならぬ中、一生懸命野球に打ち込んでいる中学生のクラブなっつよ。高鍋高校の野球も低迷しちよるし、児湯郡から再び甲子園を目指しちよつとよねー。思わず頑張れって言いたいのがね…その中でも2人の選手が九州日本の選手にも選ばれてよ…今後に期待大なっチャが…。スゲーじゃろ!

高鍋スポーツクラブ「高鍋リトルシニア」
高鍋リトルシニアは、2013年創部の高鍋スポーツクラブ所属の児湯地区で唯一の中学生を対象とした硬式野球チームです。

『子どもたちの輝く未来のために!』

平原美仁監督、他コーチ3名・トレーナー1名の指導の下、「協力合和・自主独立」をチームスローガンとし、野球技術の向上はもとより選手の人間育成にも重きをおいています。常日頃から、選手ひとりひとりが自ら考え協力し合い一丸となって、目標に向かって取り組んでいます。また、恵まれた環境の中で子どもたちの高校へ向けての基礎を作り、次のステージへステップアップ出来るよう日々練習を重ねています。高鍋町民の皆様の熱い応援をよろしく



『部員数』1年生：2名 2年生：12名 3年生：8名 合計22名



『九州ジャパン選出』(右から)
岩崎龍太郎さん(高鍋東中3年)
山本 煌士さん(高鍋西中3年)

お願いします。

『地域に愛されるチーム作り』

チーム活動の大きな目的として、児湯地区の野球技術のレベルアップをあげています。児湯地区

から一人でも多くの甲子園球児を!監督、スタッフ陣、保護者会の願いです。また、地域活動にも積極的に参加することで、地域に根付いたチーム作りを目指しています。

新型コロナウイルス感染の影響で大変な時だからこそ、子どもたちのグラウンドでの元気でひたむきな姿をお見せすることで、地域の皆さんへの勇気付けに少しでもなればと思います。

是非、グラウンドへお越しください。



『平原監督・保護者とともに』

編集後記

秋晴れの10月3日、本町の持田(坂本地区内)で、持田遺跡発掘調査の報道陣向けの説明会が行われました。

10月4日の宮崎日日新聞では「持田遺跡(高鍋)で2基発見」「分布域の北限更新」、読売新聞では「地下式横穴墓を確認」「持田遺跡で初、内部に金銅製馬具」などの見出しで取り上げられておりました。

当日、県埋蔵文化財センター調査第二担当リーダー主幹の東憲章(ひがしのりあき)氏に現地で見られた横穴墓出土品等について説明して頂きました。これまで持田古墳群の周辺草刈りには、何度も参加しておりますが、この度の珍しい貴重な出土品に感銘した次第です。

【詳しくお知りになりたい方は】
高鍋町社会教育課
埋蔵文化財係まで

(0983)23-3326

*今回の「高鍋議会だより」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止を図るため、編集会議時間を極力短縮し、縮小版でお届けしました。

(八代輝幸 記)